



病児保育室だより

わかば

2025. 9月号

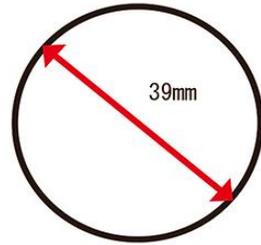


暑さがやわらぎ、外遊びの時間が増えてくると、小さなけがも多くなります。9月9日は「救急の日」です。この機会におうちの救急用品の中身を見直したり、応急処置の方法も学んでおきましょう。

家の中の事故を防ぎましょう

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、じつは事故の危険の高い場所だということをご存じでしょうか？ 0～6歳の子どもの事故の約40%は、家の中で起こっています。

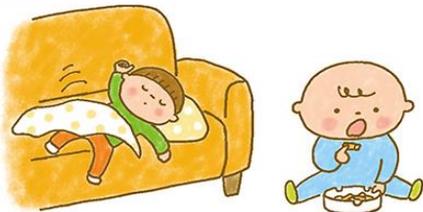
家の中で起こる事故はさまざまですが、特に命にかかわるのが、窒息です。0歳児が圧倒的に多いものの、1歳児、2歳児でもゼ口ではありません。家の中を安全・安心な場所にするために、もう一度チェックしてください。



小さいものはしっかり管理

3歳の子どもの口の大きさは約4cm。これより小さなものは、子どもの手の届かないところに保管しましょう。ボタン電池、ナッツ類、たばこ、薬など、身近なものでも飲み込むと危険なものはたくさんあります。

リビングなど



ソファやベビーベッドから落ちたり、たばこを飲み込んだりといった事故がよくあります。

キッチン



炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけどが多い場所。

浴室



残り湯に落ちる、入浴中にちょっと目を離れたときにおぼれるなど、水の事故の危険があります。

ベランダ



台などによって手すりを超える事故が、3歳以降急増します。危険なものがないかチェックしましょう。



救急箱の中身、チェックしてますか？

救急箱の中身に決まりはありません。普段使うものを、清潔な入れ物に入れておけばOKです。ただし、滅菌ガーゼや薬は使用期限がありますし、テープ類は古くなると粘着力が弱くなります。1年に1回は中身をチェックしましょう。

CHECK!

絆創膏

けがをした部位に合わせて選ぶよう、形やサイズをいくつか用意しておくとう便利。



はさみ

救急箱専用にしておくとう衛生的で安心です。

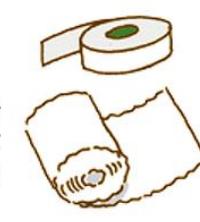


体温計



ガーゼと医療用テープ

傷口を保護したり、薬を塗った上にかぶせたりして使います。個包装の滅菌タイプが使いやすいでしょう。



毛抜きやピンセット

皮膚に刺さったとげを抜いたりするのに使います。



常備薬

(虫よけ、かゆみ止め、化のう止めなど)



0～3歳に多い窒息！対策、していますか？



窒息で亡くなった人を年齢別に見ると、0～3歳の子どもが85%を占めています。特に食事中、睡眠中、遊んでいるときの窒息が多いです。注意する点を知っておきましょう。

食事中

小さく切って食べさせているか
かむ力、飲み込む力に合わせた大きさに調整します。

よくかむよう声をかけているか
かむことで飲み込みやすくなります。

正しい姿勢で食べさせているか
寝転ぶなどの姿勢は、のどにつまらせる危険があります。

年上のきょうだいに小さな子どもの世話をさせていないか
きょうだいあげたもので窒息することがあります。

睡眠中

寝具がやわらかすぎないか
顔がマットに沈み、呼吸ができなくなります。

ベッドの周辺にすきまがないか
顔がはさまる危険があります。

スペースは十分あるか
ふとんやクッション、人形などが顔にかぶさって窒息することもあります。かけぶとんは軽いものを使い、寝具以外のものは周りに置かないようにしましょう。

遊ぶとき

このくらい大きさなら、大丈夫とっていないか
子どもは直径6～20mmのものでも窒息する危険があります。ビー玉・おはじき・ビーズ・ブロックなどの小さなものは、子どもの手の届かないところに保管しましょう。



病児保育室情報

8月の製作をしました！好きな色やシールを選んで、アイスクリーム・スイカ・向日葵を作りました。とっても可愛く出来ました！体調回復時期で連日利用でも飽きずに過ごせます！



社会福祉法人 河内厚生会
もえぎ野わかば保育園 病児保育室
☎090-1664-6779(受付8時～17時)

*利用の仕方などご不明な点がございましたらお気軽にお電話ください。

もえぎ野わかば保育園 病児保育室 HP

